

第 234 回 日本知能情報ファジィ学会 理事会議事録 (第 15 期, 第 12 回)

日時：2018 年 11 月 11 日 (日) 13:00~17:00

場所：関西大学・高槻ミューズキャンパス・西館 3 階 M301

<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/access.html#muse>

<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/mapmuse.html>

出席者 (敬称略)：林 (会長), 乾口 (副会長), 藤吉 (副会長), 櫻井 (会誌), 本多 (事業・研究推進), 堀尾 (財務・会計), 井田 (規程・選奨), 中島 (特任・電子化データベース), 前田 (特任・資料アーカイブズ), 金久保 (財務・会計監事), 堀口 (事業監事)

欠席者 (敬称略)：星野 (大会デザイン; オブザーバー), 能島 (広報), 工藤 (出版・他学会連携), 広兼 (総務)

【審 議】

1. 前回議事録の確認 (資料 234-0 : 広兼)

- ・以下の誤字を訂正することとした。
 - 創り上げていく → 作り上げていく
 - 経緯火 → 経費
 - 運営右負担 → 運営負担
 - 準備がさていることが → 準備がされていることが (2 か所あり)
 - 約 7000 円かかるころが → 約 7000 円かかることが
 - 委託する必要がる → 委託する必要がある
 - 望ましため → 望ましいため

2. 北九州市の開催支援制度について (資料 234-4 : 林)

- ・次回の SCIS 開催地は決まっている (関東) ため, 北九州市で SCIS が開催される可能性は次々回以降になる。次期理事会への申し送り事項とする。
- ・FSS でも助成を受けることができる。

3. 資料アーカイブズ委員会の活動状況について (資料 234-5-1, 2, 3 : 前田)

- ・委員会からシニア会員に資料の提供を依頼しているが, 提供量の増加は見込めなさそうな雰囲気である。
- ・電子アーカイブ化するにあたって, スキャナの設定 (dpi やカラー or モノクロ) に相当の手間がかかったが, 学生アルバイト (立命大 M1 中国人留学生) 1 名に高萩先生から入手したソフトサイエンス関連資料の電子化作業を依頼し, アーカイブ作業が完了した。
- ・第 16 回以降のソフトサイエンス研究会講演論文集を非公開にする必要はあるのか?
 - 再度研究会に問い合わせる
- ・アーカイブデータの保管場所について
 - SOFT-CR はリンクの入り口で, データを置く場所がない
 - 学会サーバにデータ保管場所を用意してもらおう (能島広報担当理事に依頼する)

- 著作権について
 - －学会誌論文は学会に帰属する（学会著作権規定第8条）ただし著者に一筆書いてもらうものは留意されていない
 - －LIFE 関係の著作物に関しては、著作権が LIFE にあるとは考えなくてもよいだろう（中村先生）
 - －SOFT 論文誌, FSS 論文集, SCIS 論文集は SOFT に著作権があると考えてよいだろう
 - －SCIS は ISIS や IFSA との共同開催であるので、相手方と著作権を調整する必要があるのでは
 - －> SOFT 主催する雑誌, 学会, 研究会に限定すれば, SOFT に著作権があると考えて差し支えないだろうとの考えに基づき, SCIS も SOFT が著作権を保持すると考えることにする
- ファジィ文献データベース
 - －現在、中田先生に問い合わせ中であるが、もし最新版データを入手できれば、取り扱いに関する次の意思決定をすることにする
- FSS, SCIS 論文集 PDF データの J-Stage への登録作業
 - －FSS, SCIS で作業の流れが異なり、作業が複雑。原稿自体も不規則で自動化することは非常に困難である。
 - －井田理事が細かい作業の流れをまとめて文書化中である
 - －文書化された作業の流れを用いてアルバイトに作業をお願いしてもよいか－> よい
- LIFE 関連資料のアーカイブ化
 - －中村先生から提供予定の関連資料は SOFT が電子化を検討することとする。
 - －通産省が著作権を持っている可能性があるかもしれない。少なくとも資料を持っているかもしれないので公開時には問い合わせる必要がある可能性がある。
 - －資料を破棄する決まりになっていれば、資料を持っていることが問題にもなりかねない。
 - －> アーカイブはしてもよいだろう。但し、公開することになった場合には一応通産省にお伺いを立ててみる必要があると思われる。もし資料が残っていれば寄贈してもらおうとよいかもしれない。

4. J-STAGE へのアップ作業費用の執行について（資料 234-6：星野→広兼）

- 案1ですでにすすめている。
 - －> このまま進めていただきたい

5. 会誌 A4 判化に伴う見積もりについて（資料 234-7：櫻井）

- 若干の赤字になる見込み
- 恒常的な赤字を打開するために会員年会費を上げる必要がある
- 次回の理事会で本格議論開始
- 会誌 A4 化の影響という意識づけされないようにする
- 消費税変更も年会費増加の理由になるだろう
- 会員費の変更は総会議決事項ではないか？
 - －> 総会で議題には上げるべきだが、議決事項とするものなのかどうかは不明

6. 評議会規程の一部改訂について（資料 234-8：井田）

- ・下記の通り変更案を総会に上程することとした。

（現状）

第 6 条 評議員は本学会領域において十分な研究歴を有し、活発な研究活動を行っている本学会の正会員または特別会員であることを要する。

→ 名誉会員を追加する（評議員としてふさわしい名誉会員の先生が、現状の第 6 条では評議員の資格をもてないため）

（変更案）

第 6 条 評議員は本学会領域において十分な研究歴を有し、活発な研究活動を行っている本学会の名誉会員，正会員，特別会員であることを要する。

- ・来年度の総会の議決により正式に変更が確定される。ただし、理事会としては第 6 条に名誉会員が記載されていないことを認識している。
- ・第 1 条、附則に記載されている「規定」は「規程」の誤りである

7. FSS の名称変更について（資料 234-10：林）

- ・議論の目的を明確にした方が議論の方向性がはっきりするのでは
 - 目的は会員増と FSS 参加者増
- ・ファジィが頭についていることで顧客を減らしている感はある
- ・名前を変更するだけではなく、学会のコンテンツ（研究部会や企画）で人を呼ぶことを考えてもよいのでは
 - いわゆる理系だけではない層があることが SOFT の特徴の一つである。この点を有効活用できれば良いかもしれない
- ・FSS の講演でファジィをキーワードにしているものがごく少数であり、ファジィが FSS を代表しているとはいいがたい
- ・ザデー教授にちなんだブランド設定（グッズ販売など？）を考えることはできないだろうか
- ・発表論文賞のトップをザデー賞とするのはどうか
 - 名称変更を前向きに検討する方向で合意
- ・理事会は名称を変更する意向と決まれば、総会議決の議事として提案する
 - 名称変更してもよいという意見が理事会では大勢を占めた（変えるべきという意見が強かったわけではないことに注意）

8. その他

- ・特になし

【報 告】

1. FAN2019 企画(案)について（資料 234-1：林）

2. 横幹連合の科研費分野新設検討会及び会長懇談会の報告（資料 234-2-1，2：井田）

3. 日本学術会議協力学術研究団体の実態調査（学会名鑑）について（資料 234-3：広兼）

4. SOFT-CR 連携ファジィ学問塾の 2018 報告と 2019 計画 (資料 234-9 : 本多)

- ・若手に FSS に対するイメージを聞いておいてほしい

5. ザデー先生追悼特集号について

- ・投稿 2 件
- ・解説論文を 3 件依頼

6. FSS ショートノート特集

- ・ 7 件投稿あり

7. 来年度の国際学術誌購読料の設定について

- ・例年, この時期に購読料を設定するが, IJFUKS, JACIII 以外の FSS, IJAR について, IFSA からは情報がなく設定できない.
- ・去年の価格設定トラブルの処理も必要.
- ・日程的にメール審議でお願いしたい.

8. その他

- ・2019 年 1 月頃で日程調整する.

以上